

## E8 エミュレータソフトウェア V.2.03 Release 00 への リビジョンアップのお知らせ

オンチップデバッグエミュレータE8用エミュレータソフトウェアを V.2.02 Release 00 からV.2.03 Release 00 にリビジョンアップしました。

### 1. リビジョンアップ内容

#### 1.1 サポートMCUの追加

デバッグ対象のMCUとして、H8/300H Tiny, H8/300H Super Low Power, H8/300L Super Low Power および R8C/TinyシリーズMCUの一部を新たに追加しました。追加したMCUは以下のとおりです。

- (1) H8/300H TinyシリーズMCU  
H8/36077F
- (2) H8/300H Super Low Power シリーズMCU  
H8/38076RF, H8/38086RF, およびH8/38602RF
- (3) H8/300L Super Low Power シリーズMCU  
H8/38004F, H8/38024F, H8/38104F, H8/38124F,  
H8/38327F, およびH8/38347F
- (4) R8C/TinyシリーズMCU  
R5F21181, R5F21182, R5F21183, R5F21184,  
R5F21191, R5F21192, R5F21193, R5F21194,  
R5F211A1, R5F211A2, R5F211A3, R5F211A4,  
R5F211B1, R5F211B2, R5F211B3, およびR5F211B4

E8エミュレータソフトウェア V.2.03 Release 00に含まれる各デバッガのバージョンは以下の通りです。

- R8C/Tiny E8エミュレータデバッガ V.2.01.00
- M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバッガ V.1.01.00
- H8 Tiny/SLP E8エミュレータデバッガ V.1.01.00

## 1.2 機能改善

### 1.2.1 サポートMCUに依存しない機能の改善

#### (1) USBドライバの改善

デバッグ中にホストPCがサスペンドモードへ移行しないようにしました。これにより、ユーザがE8との通信を切断していないにも関わらず デバッグ中に通信が切断されることがなくなります。

#### (2) エミュレータの複数接続対応

ホストPCにE8エミュレータを複数台接続しての同時デバッグが可能になりました。

### 1.2.2 R8C/Tiny E8エミュレータデバッグの機能改善

#### (1) IO定義ファイルの表示形式を変更

IO定義ファイルの内容をビットフィールド形式でIOウィンドウに表示するように変更しました。

#### (2) 接続キャンセルボタンの追加

メニュー「デバッグ」→「接続」コマンドを選択すると表示される "Select Emulator mode"ダイアログボックスに「キャンセル」ボタンを追加しました。

### 1.2.3 M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバッグの機能改善

#### (1) ワークRAM領域サイズの削減

ターゲットMCU内のファームウェアが使用するワークRAM領域サイズを 256バイトから128バイトに削減しました。それに伴い、エミュレータ デバッグとE8のファームウェアとの接続処理中に表示される "Firmware Location & WDT"ダイアログボックス(\*)の ワークRAM領域設定桁数を変更しました。

\* エミュレータデバッグとE8のファームウェアとの接続処理中に自動で表示されます。

#### (2) ランタイムデバッグ処理の高速化

ユーザプログラム実行中のランタイムデバッグ処理(メモリダンプおよびメモリフィル)を高速化しました。

### 1.2.4 H8 Tiny/SLP E8エミュレータデバッグの機能改善

#### (1) メモリフィルのベリファイ機能改善

メモリフィル実行時にベリファイオプションが選択されている場合は、ベリファイを実行するようにしました。

### 1.3 問題改修

サポートMCUに依存しない以下の問題を改修しました。

IEEE695オブジェクトをロードした際、128バイトを超える構造体の情報が ローカルウィンドウおよびウォッチウィンドウに正常に表示されない 問題を改修しました。

問題の詳細については2005年7月1日発行のRENASAS TOOL NEWS "E8 および E7 用エミュレータソフトウェアご使用上のお願い"(資料番号：RSO-E8\_2-050701D)を参照ください。

## 2. リビジョンアップ方法

オンラインリビジョンアップ(無償)が可能です。

開発環境ホームページからアップデートプログラムをダウンロードして アップデートを実行してください。

## 3. 注意事項

- (1) アップデートプログラムを実行すると、High-performance Embedded Workshop V.4.00.00以前のバージョンがインストールされている環境では、V.4.00.01 にリビジョンアップされます。
- (2) 本アップデートでは以下のツールチェーンを必要に応じてインストール可能です。 M3T-NC30WA V.5.30 Release 02 無償評価版

---

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。